

ワークステーションコンソールの統合ページ

概要

ワークステーションコンテンツと統合は、[WalkMeコンソール](#)を介してワークステーションから外部管理できます。WalkMeコンソールの統合ページは、ワークステーション管理者が組織全体のワークステーションに作業アプリをシームレスに接続するための強力なツールです。

統合を設定すると、管理者はアクセスを管理し、統合にオーディエンスを追加でき、特定のユーザーグループにターゲットコンテンツを割り当てることができます。

WalkMe管理者

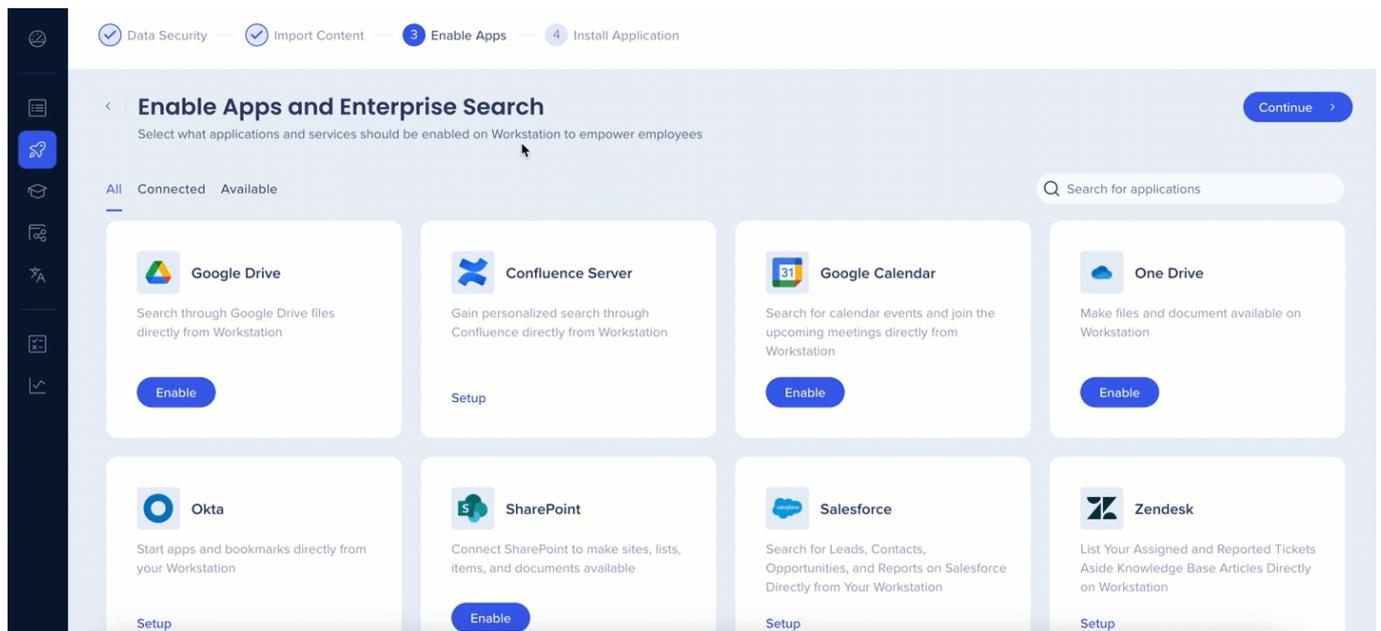
この資料は、組織のWalkMe管理者向けとなっています。統合を追加および管理するにはWalkMeコンソールにアクセスする必要があります。

情報の確認

統合ページワークステーションから、組織全体のワークステーションで利用可能なアプリケーションを管理できます。

認可タイプ

統合に応じて、設定と接続は、2つの保護された標準API KeyまたはOAuth2.0のいずれかを使用して実行されます。[統合とその認証タイプの詳細については、こちらをご覧ください](#)



統合は3つのタブで編成されます：

- すべて – 利用可能なすべてのアプリケーション
- 接続済 – 接続されたアプリケーションのみ
- 利用可能 – まだ接続されていないアプリケーションのみ

統合カードタグ（ベータ版と近日公開予定）についてご覧ください...

一部の統合カードには、次のことを示すタグがあります：

- **ベータ**：このタグとの統合が使用可能で、タグは、エクスペリエンスとパフォーマンスに変更がある可能性があることを示す指標として動作します。
- **近日公開予定**：このタグとの統合は読み取り専用です

セットアップを必要とする統合(APIキー)

統合がAPIキーを必要とする場合は、「セットアップ」ボタンが表示されます。各アプリには、設定するための異なる手順があります。APIキーが必要な場合は、設定手順を得るために、そのアプリの統合概要にアクセスしてください。[利用可能な統合とその記事のリストはこちらをご覧ください。](#)

必要な設定がすべて完了すると、有効ボタンが選択できるようになり、ユーザーがアプリを利用できるようになります。

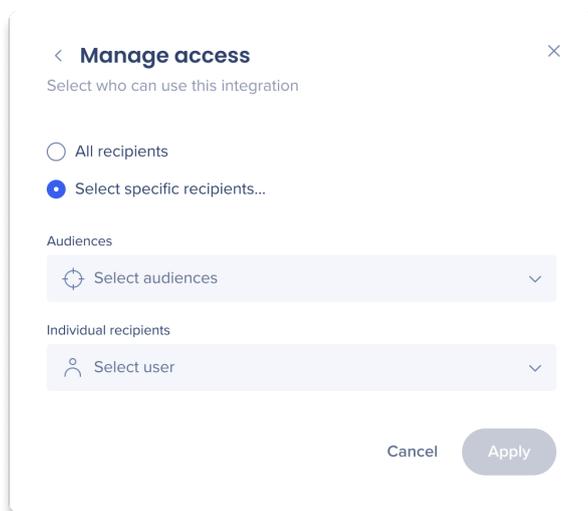
セットアップを必要としない統合[OAuth2.0]

統合認証タイプがOAuth2.0の場合は、追加設定をする必要はありません。統合を組織で利用できるようにするには、有効をクリックします。

オーディエンスとの統合をセグメント化

統合は、ComCenterオーディエンスと個々の受信者を使用してセグメント化できます。

統合が設定されると、プロセスにおける次のステップは、アクセスを管理し、オーディエンスを追加することです。[オーディエンスと、それらを作成する方法の詳細については、こちらをご覧ください](#)



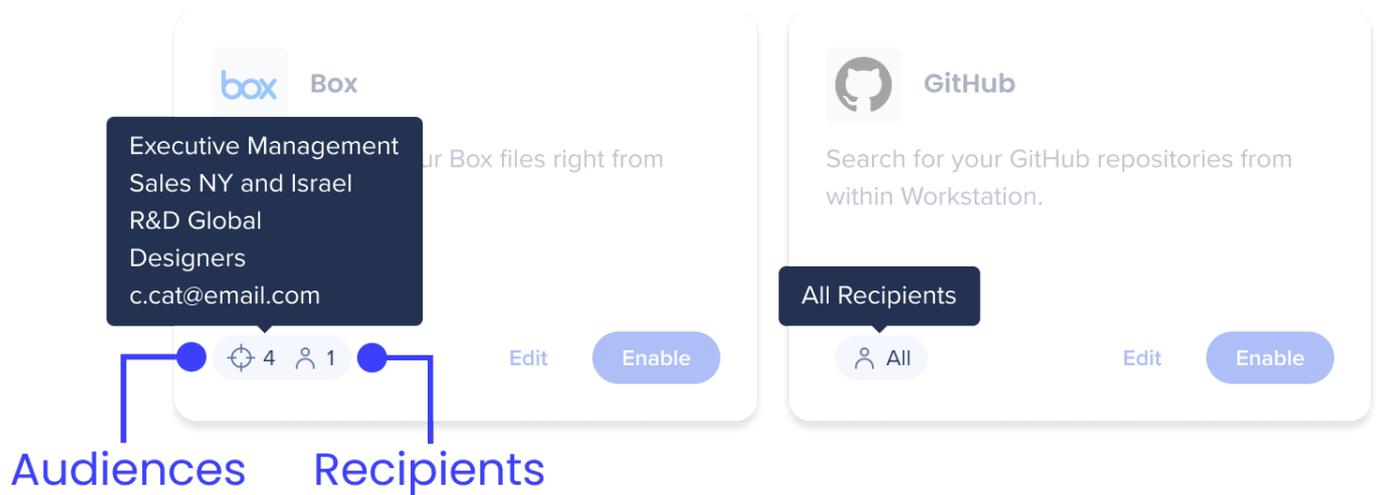
統合をセグメント化する必要がない場合は、**すべての受信者**を選択し、適用をクリックします。統合は、誰もが利用可能になります。

統合をセグメント化したい場合は：

1. **特定の受信者**を選択をクリックします...
2. ComCenterオーディエンスからオーディエンスを選択したり、個々のユーザーを追加できます。
3. 関連するすべてのオーディエンスとユーザーを選択し、適用をクリックします。

メインページの統合カードは、そのアプリがセグメント化されているかどうかを示します。端にカーソルを合わせると、このアプリが利用できる受信者またはオーディエンスのリストが表示されます。統合がセグメント化されていない場合、「すべて」があります。

アイコンをクリックしてセグメンテーションを変更します



セグメンテーションの変更

セグメンテーション設定はいつでも変更できます。ただし、Workstationに接続された後に統合をセグメント化すると、選択したセグメンテーション基準を満たしていないユーザーは、統合にアクセスできなくなることに注意してください。その結果、統合はWorkstationから自動的に削除されます。

統合を無効にする

統合が有効であり、今後有効にしたい場合は、無効をクリックすると、組織のすべてのワークステーションからアプリが削除されます。